

「春季鍋の会記録」



新緑映える「逗子蘆花公園」で、「春恒例の鍋の会」が、これ以上のお天気が望めないような、さわやか日和で、参加者も25名と、平成の最後を飾るに「相応（ふさわ）しい集い」となりました。

お世話役の皆さんがそれなりに丹精を込めた手料理で、小林先生のイタリアン風リゾットには舌鼓を打ち、魚介類の塩焼き、更には薄味で誠に味わい満点な豚汁、「お代わり！」の声があちこちで飛び交うなど、ランチタイムも大幅に延長して、「ワイワイ、ガヤガヤ」、お話しも尽きませんでした。

頃合いをみて、「みんなで唄おう！」と、ここ一年、「定例会」では、日頃の練習成果を披歴され、我々を楽しませてくれている「ハーモニカクラブ」のメンバー登場で、準備された歌詞カード10曲を、美声！豊かに合唱するも、いつもと違い選曲も高度化？し、歌い手さんも必死になってついてゆく場が多々見受けられつつ、みんなが「一体感」を持って盛り上がり、半端ではありませんでした。5月の「25周年記念祝賀会」には、全員参加を合言葉に、午後2時過ぎには無事散会いたしました。